

「大阪府動物愛護管理推進計画」改定案

修正案

3 具体的な数値目標

府民一人ひとりが、動物の命の尊さ大切さを抱くとともに動物を愛護する心を育み、動物の存在が広く府民に受け入れられ、人と動物とがより良い関係づくりを進め、『人と動物が共生できる社会の実現』を図っていきます。

そのため本計画では、これまでの取組みを踏まえ、今回、改正された「動物愛護管理法」及び「基本指針」に即し、返還及び適正な譲渡促進を積極的に進めながら、令和 12 年度の殺処分数について、令和元年度比 **75%**削減を目標とします。

(令和 3 年 4 月に令和元年度比 50%削減を目標としていましたが、達成状況を点検し、令和 8 年 4 月に、目標値を 75%に修正しました)

| | | | |
|---------|---------|-----------------|-----------------------|
| | 令和元年度頭数 | 目 標 (令和元年度比) | 目 標 数 値 (令和 12 年度) |
| 犬猫の殺処分数 | 1,401 頭 | 75% 削減 | 350 頭 |

【参考】「基本指針」における国の数値目標

| | | | |
|---------|------------|--------------------|-----------------------|
| | 平成 30 年度頭数 | 目 標 (平成 30 年度比) | 目 標 数 値 (令和 12 年度) |
| 犬猫の殺処分数 | 46,411 頭 | 50%削減 | おおむね 2 万頭 |

なお、この目標は「基本指針」が基準としている平成 30 年度比では、**82%**削減相当という目標になっており、これまでの計画の基準年である平成 18 年度の殺処分数（13,287 頭）から、概ね **97%**削減させるといいう目標になっています。

現行

3 具体的な数値目標

府民一人ひとりが、動物の命の尊さ大切さを抱くとともに動物を愛護する心を育み、動物の存在が広く府民に受け入れられ、人と動物とがより良い関係づくりを進め、『人と動物が共生できる社会の実現』を図っていきます。

そのため本計画では、これまでの取組みを踏まえ、今回、改正された「動物愛護管理法」及び「基本指針」に即し、返還及び適正な譲渡促進を積極的に進めながら、令和 12 年度の殺処分数について、令和元年度比 **50%**削減を目標とします。

| | | | |
|---------|---------|-----------------|-----------------------|
| | 令和元年度頭数 | 目 標 (令和元年度比) | 目 標 数 値 (令和 12 年度) |
| 犬猫の殺処分数 | 1,401 頭 | 50% 削減 | 700 頭 |

【参考】「基本指針」における国の数値目標

| | | | |
|---------|------------|--------------------|-----------------------|
| | 平成 30 年度頭数 | 目 標 (平成 30 年度比) | 目 標 数 値 (令和 12 年度) |
| 犬猫の殺処分数 | 46,411 頭 | 50%削減 | おおむね 2 万頭 |

なお、この目標は「基本指針」が基準としている平成 30 年度比では、**63%**削減相当という目標になっており、これまでの計画の基準年である平成 18 年度の殺処分数（13,287 頭）から、概ね **95%**削減させるといいう目標になっています。